

史迹美術同攷会 「石造美術勉強会」 第 49 回  
北河内の四条畷市・大東市・東大阪市の石造美術を訪ねる。

担当

“野崎まいりは、屋形船で詣いろ・・・どこを向いても菜の花畑・・・”と野崎小唄に歌われた野崎観音は天平勝宝年間、行基が十一面観音を刻んで当地に安置したのが始まりと伝えられる古刹です。江戸時代には婦人病と子授けの御利益があるとされ、庶民信仰の場として隆盛を極め、今も参詣者が絶えません。

野崎観音の石段下には東高野街道が石切りへと続いています。今回はこの道に沿って永仁の年号を持つ三基の層塔を訪ねます。

三昧尾は車では入ることのできない生駒山の中腹です。降りばかりですが1時間ほど歩くことになりそうです。しっかりした足元で参加してください。

見学場所

慈眼寺（野崎観音）・九重石塔〔大東市指定〕永仁二年銘

逢坂五輪塔〔府指定〕延元元年銘

住吉神社・石槽〔府指定〕鎌倉時代 ・十三仏

龍間地区・地藏菩薩立像〔大東市指定〕延徳二年 ・一石二段六地藏板碑〔大東市指定〕

永禄十年 ・一石十三仏板碑〔大東市指定〕

観音寺十三重石塔〔東大阪市指定〕永仁二年銘

三昧尾十三重石塔〔重美〕永仁七年銘

記

集 合 2019年5月26日 午前9時30分 JR片町線 四条畷駅 改札口前

※ 京橋駅（片町線2番乗場）より学研都市線が多数あります。

解 散 4時30分頃 近鉄石切駅（下り道を歩くことが苦手な方は石切劔神社へバスを回します。ただし、三昧尾層塔は拝観できません。また、豪雨の場合は三昧尾層塔の拝観はやめて石切劔神社を参拝します）

参加費 6,500円（マイクロバス代・拝観料・他）

昼 食 野崎観音近辺で食事場所を探します。

申 込 申込に関する問合せ E-mail：[gushibikai@gmail.com](mailto:gushibikai@gmail.com)

上記問合せからの申し込みは、5月15日頃までにお知らせください。

募集人数 27名(先着)

※ 次回第50回勉強会は小田原から箱根方面の一泊二日を予定しています。